

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 1/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

1. 開会【企画財政部長による開会】

省略（1. 開会については、別ファイルにまとめています）

2. あいさつ【市長によるあいさつ】

省略（2. 市長あいさつについては、別ファイルにまとめています）

3. 趣旨説明

(1) 趣旨説明及び総合計画位置づけ等説明

省略（3. 趣旨説明及び総合計画位置づけ等説明については、別ファイルにまとめています）

(2) 都市計画マスタープラン趣旨説明

省略（3. 都市計画マスタープラン趣旨説明については、別ファイルにまとめています）

4. 意見交換

【司会】

こんにちはパシフィックコンサルタンツの齋藤と申します。市長様からお話ありましたように本来のコンサルとしての役割を果たすというのが我々の今回の業務でございますので、あくまでみなさんのご意見、市側とみなさんのご意見が円滑に活発にご議論できるよう司会をさせていただきたいと思っております。

そういったことで、私はみなさんの橋渡しをするだけでございますのでその点よろしくお願ひしたいと思います。まず大きな話として、総合計画というのが今作られていくという話と、ちょうど時期を同じくして都市計画マスタープランというのも作るの、計画としては違うものですが、双方についてご意見をいただきたいということで、2つ一緒にご説明されたという経緯がございます。その点ご理解いただいたほうがお話ししやすいのかなと思って補足させていただきます。

私は、今日は皆さんのご意見をいかに引き出すかという役回りでございますので、今ありましたように市の将来像であるとか、課題こういうものを踏まえながら皆さんの率直な日頃感じていらっしゃる意見について、多くの方が参加しておりますので多くの方に意見をいただけるよう努めていきたいと思ひます。

それではもう開始して1時間近く経っておりますので、皆さんお話ししたい時間だと思ひますのでどなたか口火を切って、将来像であったり、実際皆さんの活動される上での課題などご発言いただける方がいたらお願ひしたいと思ひますがどうでしょうか、最初どなたか

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 2/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

口火を切っていただける方いらっしゃいますか。

【各種団体代表者】

座間のホテルを守る会〇〇です。今日の資料の土地利用に関連して市街化区域が73%、多分私たちの活動は目久尻川が4市1町で活動していますけれどもいちばん多分市街化区域が多い市だと思います。それはもう20年くらい前に決めたからそうなっているんだと思います。

その一方でこの土地利用の推移をみるとどういうふうに理解したらいいかっていうのを、それをどういうふうに考えて私たちが総合計画の中に生かすのかっていうふうに思うわけですけれども例えば住宅については、平成2年に対して平成17年が、4.6%構成割合が増えているわけですね、商業は2.8%増、工業・運輸が-3.7%というふうなことでその一方で農地が5%ということは、ひとつは、これは市のほうが計画してこのように誘導していったのか、そうじゃなくてなりゆきでこうなったのか、その辺のところをちょっと聞きたい。それから4月のシンポジウムに参加して、その時座間市の自治会連絡協議会の会長さんが今後の座間市について重要なのは工業と、いわゆる商業と農業、そこの活性化がないと生き活きとしたまちにはならないんじゃないかと。そういうふうなご発言をされて記憶をしているわけですが、私もやはり座間市のホテルを守るようなことを考えるとやはり緑をどういうふうに生かしていくかということ、座間市の場合は考えなくてはならない。

それと総合計画の中で今後検討されると思いますけど、まずはどんどん住宅が増えるのは、当然人口が増えているわけですがそれはどういうふうな経過で農地が減り工業が減ってきたかということを考えて、それともうひとつやはり今後の流通関係で日産の跡地に大きな総合流通センターができたわけですが多分それは今後10年においても大きな核となるようなことかなんて思いますので、例えば交通網、あそこへアクセスするというのは大型トラックを流入させるためにはどうするかということ、その辺の現状を過去こういうふうに変遷したことに関して、こういうふうに市側が今いかしてまた市民に対して説明されるのかその辺を伺いたいと思います。

【司会】

それでは今大きく3つほどご質問があったと思いますが、1つ目の土地利用の推移の読み方ですね、それと3つ目のほうの道路網であるとかこれまでの取り組みの話しですねこちらについて最初に市のほうからのご意見いただいて、農業や緑の話しは多分他にも色々ご意見が今後あると思いますので、市からの話しのあとにもう少し皆さんからご意見いただいてからまた市からの回答をいただきたいと思います。それでは土地利用の関係ですねそれと道路網の話しなどについてのご発言をお願いいたします。

【市役所】

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 3/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

都市部長の和田と申します。よろしくお願ひいたします。2点ばかりいただきましたが土地利用の変遷と考え方ということで3ページの2番の土地利用という表の部分の話だと理解しております。端的に都市的土地利用の部分で住宅が増えて工業運輸系が減っている、これは工業地域、準工業地域の工場が撤退することによってそのあとに単純にマンションの建設がされていったとそういう状況を如実に表している数字かと思っております。これにつきましては土地利用の中での用途地域というものが決まっているわけですが、工業地域、準工業地域という用途につきましてはその地域の中で住宅の建設が可能な地域でございます。そんな時代の中でこういうふうに変わっていった数字かと思っております。また農地の減少これはいわゆる市街化区域外の中の農地ですからこれは生産緑地の部分が多いかと思っております。生産力地の部分でございますので残す努力というのは法的にもしている部分でございますが、何分市街化区域でございますので、これが徐々に段々に減ってきているという数字的な表れだと思っております。

続きまして座間の将来の交通計画ということでいただいたかと思っております。こちらにつきましては現在座間市総合交通計画というもの昨年度20年度そして今年度21年度そして来年の22年度3年間の計画で見直し作業を今やっておる最中でございます。そういう中で今お話しの中にもございました大型の流通関係、そういうものができている中で、今後座間市としましても南北の幹線地区というものが、将来的にも必要な部分と考えております。こういうものを次期総合計画の中にしっかり位置づけをしたいと考えておるところでございます。そのための総合交通計画も併せての今検討をしている最中でございます。

【司会】

まず2点ほど絞らせていただきましたけれども今の点について他の方々も含めてまずご質問された方よろしかったでしょうか。他の方も交通の問題土地利用の問題についてご質問などありましたら。

【各種団体代表者】

座間市認定農業者連絡会の〇〇と申します。座間市認定農業者というのはまずどんなものか言わないとわからないと思うんですけども、座間市が定めた一定規模の経営面積、あるいは一定の農業収入そういったものをクリアしたもの達の集まり、だいたい20名程いるんですけどもいわゆる農業のプロ集団なんですけども、それが現在座間市の農業を支えていると言って過言じゃないと思うんです。

それで2点ほどあるんですけども、1点は座間市の水田地帯、これは地下資源を有効利用して農家自らが出したお金で基盤整備してあのような優良な施設ができたわけですね。ところが栗原の日産の西側のほうの区域、これ地下資源がないし農家も決して儲かってないですから、基盤整備をするにもお金がない。これから将来10年先を考えたときにあのままの状態でもいいのかどうか、市がどのように考えているのかということ、それからもう1つ北向申庚から都市計画道路が相武台のほうに抜けるような都市計画図があるんですけ

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 4/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

ども、これは図のほうになっているんですけども、これはこれからどういうふうな計画を以って進めていくのか、その絡みで区画整理できればもっと農地が活性化できると思うんですけども、その2点について市の考え方お聞きしたいと思います。

【司会】

水田地域、栗原の10年後の考え方、土地利用の考え方、それと都市計画道路の今計画発展計画についてどういう動きがあるのかというところを、もう少し詳しくお聞かせいただきたいと、いうところよろしいでしょうか。

【市役所】

引き続きまして都市部長の和田のほうから説明させていただきたいと思います。

まず栗原の区域が変わるという関係について、西部地区の農用地に比べて全然整備がされていないということでございます。私共の方としましても地元の勉強会、研究会さんのほうと長年にわたりましてお話し合いはさせていただいているところでございますけれども、まだ立案は出ていない状況でございます。この話し合いにつきましても、現在もまだ継続しての進行中でございます。その辺ここで総合計画都市計画に見直しがあるわけでございますがそれを見据えたなかでお話し合い継続させていただいて、双方でよりよい今後の土地利用のあり方というものを考えていきたいと思っております。

それともう1点、都市計画道路、南北の広野大塚線という都市計画道路のお話しかと思っております。こちらにつきましては私共としましても座間の将来を考えるなかでこれは欠かせない重要な道路だと思っております。東名高速の綾瀬インターチェンジ、こういうものがだいぶ見えてきているなかで、今後幹線道路としての県央地域のなかでの重要性はますます増していく南北の縦貫する道路だと思っております。そういう認識の中でしっかりとこの将来の整備に向けての考え方というものを、今後の総合計画、都市マスタープランの中にはのせていきたい、いかなければいけないものだという認識のもとで今考えているところでございます。

【司会】

今のは「県の道路」ということですね？

【市役所】

失礼致しました。この都市計画道路、綾瀬の部分が県道になっています。座間の部分は海老名を一部通過いたしまして座間の一番南から座間市の県道座間大和(線)へと繋がります。その先が相模原市の相武台村富線の県道でございます。当然のこととしてこれは県道という位置づけになろうと私どもも考えているところでございます。

【司会】

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 5/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

せっかくですので栗原地区の土地利用の話、もし何か進め方であったり今後こうしたらいいんじゃないか、もしごアイデアがありましたら進め方も含めて結構ですが。それではどうでしょう。

【各種団体代表者】

ざま災害ボランティアネットワークの〇〇と申します。一生懸命まちを組み上げようという話の中で、災害の話をするっていうのは水をさすような話しですが、皆さん方あまりご存知ないかと思うんですが、神奈川県が7月22日に災害の被害総計の見直しをだしているんです。この数値をみると、とんでもない数値になっているわけですね。座間市における被害というのは現在ここにあります地域防災計画これにある数字どころではないわけですね。それに対して、座間市の取り組みというのが、非常に申し訳ないんですが甘いと、地震はないという想定のもとに走っているんじゃないかと思えるわけです。

ちなみにですね、神奈川県が一番恐いといわれている県西地震、これは今後30年間の発生確率がだいたい70%台、こないだ8月に地震のありました静岡東海地震が86%、それから首都圏直下型も70%台という数字がすでに発表されているわけです。

これは30年間の話しじゃないかと皆さんお思いかもしれませんが、じゃあ30年間の間に交通事故で怪我をする確率というのはだいたいどのくらいだと思うのでしょうか。24%なんです。交通事故で死亡する確率というのは1.6%といわれているわけです。これに比べると、これとんでもない数字のわけですね。危険率として。

私たちこのところずっと活動を続けておりまして先日も8月22、23日栗原小学校で避難所宿泊体験塾という活動をやりまして、おかげさまで市民の方約70名の方が、この暑い夏のさなかですね、参加していただいてワークショップをやらせていただきました。

アンケートをとりますと多くの市民の方は避難所というのは、行くと市の職員の人たちがざーっと並んでいらっしやいませと言って迎えてくれると思っているんですね。これが市民の現実なわけです。ところが私も阪神淡路の災害の中で色々活動をしてきましたので被災地、すさまじさというのは身をもって体験しております。

そういうなかから防災活動約それ以降ずっとやっております、ご存知だと思うんですが座間市は幸いにして東海地震の強化地域から外れているわけですね。川1本で。海老名市までは強化地域、けれども座間市は強化地域じゃないということはどうも行政のほうは非常に策定が甘いということで是非今度の計画の中で計画間に合わないかもしれない、地震がきちゃうかもしれませんが、県もきちんとした指示をだしていると思います。県のほうは避難所運営マニュアルの策定指針というのを平成14年にだしております。しかし座間市の地域防災計画はそれに沿っておりません。スルーしています。大事なところの避難所運営委員会の設置というものを考えなさいということ県が指示しております。それから福祉避難所の問題も県は指示をしているはずなんです。それも対応ができてないということですので、是非ともですね、市長が就任の第一番目のご挨拶が安全安心まちづくりということをご挨拶で述べられたのをはつきりと私覚えておりますのでその安全安心というのが

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 6/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

やはり市民ひとりひとりが安心して生きてかれる。災害があつたら自分たちの力で生き残れるように行政が仕掛けを作らないとだめだと思います。これから財政非常に厳しくなります。だからハードの部分でやるということは不可能だと思うんです。そうするとこれはソフトの部分でうまくつなげていく施策をつくらないかぎりですね。市の謳う、いくら備蓄を増やしたってですね、こんなもんこれ保険と一緒にですからね。そういう意味では是非そのあたりがしっかりとした計画をお願いしたいと思います。

【司会】

今おっしゃたようにこれから発生する災害不可欠な要素でありますけども発生してしまうととてつもない被害がおこると。そして今お話しいただきましたように財政的な問題もあるのでやはりソフトで対応しなきゃならない、そういうご提言をいただきましたがどうでしょうか今のお話しに対して市のほうからのご意見

【市役所】

防災に関しましてご質問いただきました。地域防災計画は平成18年度に改定しております。その後現状のままできております。これは神奈川県でも、今〇〇さんが言われたように、地震被害想定調査、今回出しております概要版ということで聞いております。地震被害調査法に基づきまして県のほうでは地震防災戦略を今策定中と聞いております。この地震防災戦略は21年度に策定されまして、22年度に神奈川県の地域防災計画を改定するというところで聞いておりますので、市町村も神奈川県の地域防災計画を引用し、参考にしている部分もありますので、その部分を見極めながら23年度には改定していきたいと、そういう考えで思っています。

【司会】

どうでしょう皆さんのほうからできれば今ご指摘、ご提言ありましたようにどうやれば行政が仕掛けをつくるとか市民を動かすために行政が動いたらいいとかそういうあたりのもう一步踏み込んだご提案などありましたら。物をつくったりこうやるのはかたちに見えてわかりやすいんですけども仕掛けをつくったりこうしたほうがいいのかというのはどういうアイデアがありますでしょうか。また今後考えていくということでまたご提言を頂きたいと思います。それではどうでしょう他の方のご意見、先程最初にお話しいただいた方に商業と農業の活性化の話から始まりまして、緑をいかしていこうというあたりのご発言がありまして、それについて次話の展開を答えてもらいましたが、もしよろしければどうぞ。

【各種団体代表者】

JA さがみの座間地区の代表をしております。農業関係の団体複数の各代表が見えていますけども、とりあえず口火を切らせていただきます。農地の関係についてご質問が出たよ

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 7/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

うでございますが、残念ながら少しずつ減少しているというのは事実でございます。まず経過についてお話ししておりますけども、JA さがみと申しますのは湘南の藤沢茅ヶ崎鎌倉から北へずっと上がってきまして、それから県央4市それから寒川町を含めた7市1町の組織といわれます。その中で特に課題に出しております経済部門の関係で農地をからめた農産物の各色々な特産物を生産しながら、各JA では頑張っている状況でございます。特に座間の環境につきましてもこれは都市化された農業の関係は全部JA さがみの各農業団体みんな条件は同じでございますが、生産したものを荷造りして、横を向いたら消費者がいるそういう状況でございます。ですから、農業の関係の特に特産物キャベツとか色々作っている大きな北関東とかあっちのほうの人たちは、収穫したものを大型トラックで荷造りをして運び出して、それで東京の市場へお出しするようなかたちをとっておりますけども、幸いにも座間の場合、近隣もそうですけども、作ったものをすぐ横を見ると消費者が待っているという状況がございますのでここだけで地産地消という部分もでございます。

ひとつ具体的な例になりますけども今各JA の関係については野菜の直売ができるような施設づくりをしております。今回我々座間としても、今現在栗原支店がございますが、そのところに野菜の直売所がございますが、施設がだいぶ老朽化したということで新しい事務所作りを考えておまして、もうすでに、さがみとして土地の買収をしていただきました。農地は確保できましたので、数年後には事務所を含めて野菜の直売の施設をちょっと規模を大きくしながらつくっていただくような、こんなかたちを考えております。ですから東のほうの方々にはかなり利用が増すのではないかというふうに考えております。それからあとは大きな課題になっていきますけどもJA さがみ全体ですが、就労している人たちが高齢化をしているということで後継者をぜひ見出していかなければならないというふうな部分もひとつの大きな課題となっています。そんなところで現在今日何人か代表者見えていますけれども、とりあえずは、今現状の農地の保全し、ここで農産物を栽培しながら消費者の皆様にご提供を申し上げたいと、こんなところで努力をしていきたいと思っております。

【司会】

ありがとうございます。どうでしょう今日は農業関係の方も多いうふうにお聞きしておりますので、今世界規模の話しを考えますといかに農業を地域の中で産業として位置づけていかしていくかというのはかなり重要視されていると思います。

どうでしょう、農業にたずさわっている方に今後の座間市の農業どうしていきたいとかこんな課題があるというのがございましたらせっかくの機会ですのご発言をいただきたいと思っておりますけどいかがでしょうか。

【各種団体代表者】

何を言おうか戸惑っているんですけど、私は朝市の会長と西地区の野菜組合の会長をやっております。今農業のことといわれましたのでちょっと自分なりに座間市の農業のこと

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 8/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

をお話ししたいと思います。

まず1点、朝市というかたちでつい最近方向が今年から夏から月2回朝市を開催するというかたちでこの会場でやっております。毎月毎月350人から多いときだと400人近くの間が地元の野菜を買いに来る、花を買いに来る、それから肉を買いに来る。大盛況でやっております。そのなかで私がいまのところ見ている範囲では、市街化区域の農地は減るという話も先程ありましたけれど調整区域また私たちの住んでいるところは農業地専用区域です。それで立派な野菜が出来ておりますので、是非座間市としてこれからの農業のために農地を減らすということは極力さけていただきたい。

私は個人でお米を作ったり野菜を作ったりしております。やはり野菜を作っている範囲ではいいんですが、水の範囲ではだいぶ水がきれいになりましたけれど、やはりうちのほうの中河原区域というやつは下水が入っておりませんので新田地区のほうに浄化槽から流れた水が流れていきます。そうすると新田地区のほうでは、水が汚れている、汚いというお話を聞いておるもんで水質が悪くなるからなんとか中河原のほうでいい浄化槽に変えるよということもお話を聞いております。けどなかなかそういうわけにはいきません。だから是非座間市のほうで下水整備というやつを調整区域のひとつお願いしたいなと私はひとつ思っております。

それからもう1点、大風あげをやる会場に農地があります。その農地は我々の農地もあるんですけど第三者が作っております。全然関係のない人が開墾して農地を作っちゃっているんです。その中には、座間市で㎡いくらというお金を出して座間市が借り受けている土地を。それをなんとか私はあそこを公園化、相模川公園だか知らないんだけどそういうふうなのを作っていただきたいなと思っておるんですけど、座間市としてはどうも途中で終わったきりでそれ以上前に進んでおりませんので何とかあの公園を相模川公園ですか、あれを完成させていただきたいと思っておりますのでひとつよろしく申し上げます。その2つ3つかな、よろしく申し上げます。

【司会】

ありがとうございます。どうでしょう続けて農業のこれから、もしくは今日の話しですと環境の話も出てきたと思いますがどちらの方でも結構ですけどもこの流れの中で発言していただければと思いますが

【各種団体代表者】

こういう場所での話し非常に苦手なんでございますけれども、今農業委員の前任者の会長さんから3点ばかり要望、ご意見もあったようでございますが、昭和45年の都市計画法が制定されましてそれにともないまして昭和48年には農業振興法整備等に関する法律が施行され、それにともないまして座間市の農業用地433haをこうした計画のなかで現況では166haというふうにされておるわけでございます。先程〇〇さんのほうから話しがございましたけれども、座間市は20名しか認定農業者がいません。全国では22万

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 9/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

8千なんぼおります。神奈川県でも1946名の認定農業者いるんですが、座間市の12万9千なんぼの人口の中でたったの20名しか跡継ぎの方がいない状況であるわけがございますね。この問題点は何かという、いくつかの要因があるわけがございますが、まず言えるのが、所得が乏しい、一生懸命汗を流してそれだけ一生懸命従事しても、サラリーマンや市職員と比べると、恵まれていない、魅力がないということ、そうしたなかで私たちも後継者育成のために色々な方策はとっているわけがございますけれども、まず限られた基礎的な資源である農地を効率的に有効に活用しなきゃいけない。この農地を絶対に減少させるような政策は決して日本のためには私はないと思う。農業というのは、やはり市民ひとりひとりが本気で考えなきゃいけないのかなという風に思っておるわけがございます。そうしたなかで農業の特に水田地域の西部のほうでございまして、今ちょうど刈り入れが始まっておるんですが、先程〇〇さんも申し上げましたけれどもあの整備については各地権者の方々が力を合わせて提供して出来た農道なんです。だから少なくともこういう収穫のときだけでも結構ですから、ちゃんと規制をしていただければ特に皆さんご存知の通り座架依橋あのへんだとトラクターでなかなか農地まで行けない、時間がかかる、また農家の高齢化、65歳以上が70%占めているんですね。こういうことも考えていただいて市民ひとりひとりが安全に安心できる座間市の発展につなげることはやはり真剣に考えていただきたいと思えます。

【司会】

ありがとうございます。それでは2名の方が続きでいきましたけども農地を減らさないような対応をしていただきたいという話と下水道、環境の話もありましたし相模川公園の土地の話ですね。そういうのもあったと思いますがこのあたりについて答えがどうだというよりは市として今考えてらっしゃることや現状認識についていただければいいと思えますがいかがでしょうか。

【市役所】

今いただいた課題っていうのは本当に座間のまちが直面している課題というものを如実に表しているのではないかと思うわけです。農業の関係のお話しそれから環境保護の関係のお話し、一方においては都市基盤整備をやっていかなければいけないというお話し、さらにはこれだけの狭いところにいっぱいの方が住まれていて、この災害時の対策の関係のお話し。全てがやはり取り組みをやっていかなければならない課題であるというふうに思っています。

そのいちばんの大きな要因と申しますか、ここに至っている原点を考えると、経済成長にしたがって多くの方が市外から転入をしてこられてこれだけの人が住むようになってきたと。ところが社会が成熟をしてきてがむしゃらに今まで働いて産業を興し、あるいは今日商工会の会長さんもいらっしゃいますけれども市外から産業が入ってきてそれが立地をし、共存共栄を図っていくというふうな作業を市が誘導する以上のスピードで日本の大

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 10/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

きな経済の流れにしたがってこのようなかたちがなされてきてしまったというような私はこれまでの市の歩み現状だというふうに思っています。

そうしたなかで先程高齢化という話がありましたけれどもこれから先色々なご縁の中でこの座間に住まれ、また仕事されている皆さんが、ここをやはり終の棲家として、ここにやはり第二のふるさと、もともからいらっしゃる皆さんにとっては先祖代々の地、両方のおもいを込めながらこのなかで共にやはり共存をしていく共栄をしていくということが求められていくそういう時代に入ってきているわけです。そのなかで外へむかってお勤めに出られ、ここを居住地ということに住宅を買い求められている皆さんもこれから高齢化社会の進展とともに第一線からリタイアをして自宅で余生を過ごされる。そうしたなかで第二の人生ということに今度団塊の世代の地域デビューの話もごさいますけれどもこれまで地域に関心を持っていなかった皆さんもこの自分が住んでいるまち座間に関心を持っていく。

こうした人々がさらにさらに増えてくるような時代がこれからの10年だというふうに思うわけです。当然生活圏・行動圏というものも今まで若いうちは車に乗ってどこまでも行って買い物するにしても、市内はおろか近隣、もしくは東京横浜まで出掛けて行って買物をしている。それも段々体がきかなくなれば車にも乗れなくなる自転車にも乗れなくなる。本当に自分たちの生活圏というものが狭くなっていく。そうしたなかでより身近に自分たちの関心視点というものが向いてくる、こうした流れがますます加速をするんじゃないかと思うんです。

今それぞれ出していただいたお話というのはそれぞれのお立場のなかで身近に感じている課題についてお話しいただいたんですけども、例えば食の問題ひとつとっても、〇〇さんおっしゃったように市民が朝市にすれば今まで気がつかなかったなかで座間にはきちんと農業がある、そのなかで新鮮な野菜ができていく、高座豚がある、さらには新鮮な花卉類がある。こうしたものがやはり地域の中の接点としてお互いが住まれる方生産をされる方これが求め合う関係というものをもっともっと構築していけるんじゃないかと。さらにはそうしたなかで今度は環境の保護ということを考えれば、この座間の地はご存知の通り水がおいしい。市の現在の水道の中でも90%弱の部分が地下資源の水によってまかなわれている。これは非常に大きな特色を持ったまちでもあるわけです。自分たちがここで住んでいるわけですしやはり環境というものに対する関心、毎日空気を吸い、水を飲んでいるまちですからこれをいかに保全していくのかということについてもさらに意識が高まっていく。

ただ一方においては、国がこれまでとってきた施策のなかで〇〇さんからも指摘がございましたけれども土地計画法の関係農地法の関係そういったような一連のこれまでの施策のなかで農地というのも当然これは相続の問題ですとか後継者の問題ですとか色々な課題があるかと思っておりますけれどもそういう個別の農業者の皆さんが抱えている問題についてもそれぞれの皆さんだけではなく、まち全体の環境保全なり環境保護それから地域から出てくる地産地消の問題、そういうことも考えながら取り組んでいかなきゃいけない、こうし

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 11/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

たようなまさに時代に入ってきているんだと思うんですね。

先程いただいた災害時の対応なんかについても昨日実はお話しをいただいていた地元の自治会の皆さんですとか福祉の関係健康の関係の皆さんからも話しが出ていますけれども、やはり地域のなかでのコミュニケーションのあり方、これも過去の我々が持っていた本当にその私らの時代遡ればどこへ行っても村落共同体というものがある中でお互いが地域の中で助け合う、さらには家族が大家族であって家族の中で助け合うというものがあったという間に気がついたら希薄になってしまっていてなくなってしまう。そういうなかで、新たにこれをもう1回今の時代に則したかたちで再生をさせながらやっていたかなければならない。一方において財政的に非常に厳しい状況があるなかで先程お話しをいただいたようにお金をかけずに皆さんの知恵という部分でそうした仕組みづくりこれをしていくながら地域というものを守っていかなきゃいけない。こういう課題が複雑に絡みあいながら出てきているのが今の時代だという風に思います。

協働によるまちづくりなんていうめんどくさい難しい言葉を使っておりますけれども、そこにこめられている話しというのは今私が申し上げたようなこと、これを総合してどういうふうに取り組んでいくことになるかというふうに思います。そうした点も農業それから今後の都市計画のあり方さらには災害ボランティアネットワークさんからもそういう災害時にはどうするんだといったような部分もあったわけでございますけれども、こうした話しを今色々私どもにとっても示唆に富んだお話しがいっぱいあるわけございまして、出していただきながらそれを今日は受け止めさせていただいて、今度は地域にそれぞれお伺いして皆さんのお話しを伺いながらそれを網の目のように組んでいったなかでの総合計画におとしこんでいく、こういう作業をさせていただきたいというふうに思っているわけございまして、まだ時間が20分くらいあるかなご意見いただけるには。そういった趣旨で、是非活発なご意見を今日はいただいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【司会】

ありがとうございます。

【各種団体代表者】

西部ふれあいファーマーズの〇〇と申します。今市長さんのお話しのなかで全くその通りと思っている一人ですが、ひとつ提案というかお願いがございます。私たちは座間のお米を座間の小学校の子どもたちに食べていただきたいというような運動をしておるんですが、趣旨はいいんですが下から積み上げてまいりますと縦割りであったりとか、利権の問題とかそれから担当部署の方の保身だとかとうとう挫折をしてしまいました。山本議長さんも煩わせて何回か研究会も設けたんですがこれは下からの積み上げじゃだめだと、これはひとつ市長さんからのトップダウンで進めていただきたいと。田んぼというのは単に米作るだけじゃなくて赤トンボだとか涼しい風も生産しておるし環境の問題もそれからいざ

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 12/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

っていつきの災害の避難所にもなるんだしこれが農地を守ろうという今のお話ですのでぜひとも具体的なことですのでよろしく願いいたします。

【司会】

ありがとうございます。ここで「はい」というわけにはなかなかそうわけにはいかないですがご意見としてということですのでよろしく願いいたします。どうでしょうか。

【各種団体代表者】

先程から色々出ているんですけども農家もそんなに悲観するようなものではありません。今まで我々は市場出荷をして市場から値段を決められて苦しい経営をしておりましたが、最近 JA の直売所とか朝市とかそういったところで直接市場に出さないで都市近郊の有利性というのを利用しまして直売ということだいで利益も上げています。非常に楽しい産業になってきました。それで、観光協会が設置されましてできたら大凧祭り、あるいはひまわり祭り、そういったところに大変お客さんが来ますけれどもそこに直売の施設がないというのが残念だなと思うんですね。それをなんとか考えていただいてもっと我々の直接売れるような場所があればもっと楽しい産業になると思うんです。

【司会】

ありがとうございます。今のお話しと関わるかもしれません商工観光のあたりの関係の方にもそろそろご発言をと思います。

【各種団体代表者】

工業会の〇〇と申しますけども、だいで農業が続いたんで、こらで工業をと思って。本当にこの第四次総合計画非常にいいと思うんですよね。三次が長すぎたかなという感がありますけども、質問としましては、次期計画を策定するに当たっての三次の総合計画の位置づけですね、継続性を持っているのか、またどこが違っているのか三次について、社会の情勢が20年間でとんでもないことがありましたんで思うことはできなかつたかもしれないけど、ある意味では先程市長が言ったように核づくりということでハードの面をずいぶんやってきたんじゃないかなというふうに思ってますからそういう部分はこれから必要はないことかと思えますけど、やはりこの工業の立場で言うと先程のホテルを守る会からありましたけれどもやっぱり農業工業商業が、きちっと元気になっていかないとやっぱり絵に描いた餅じゃなくて活力のあるまちづくりになかなかできないと思うんですよ。

ひとつ良かったと思うのはなかなか農業のお話しを聞く機会がないものですから非常に今日参加して20名の方くらいで農業を守っている、これは本当に大変なことだと思っています。それからひとつ直売店ですかねこれも非常にいいなって思っていますし、ちょっと取り留めのない話になりますけれども、福島の須賀川に「はたけんぼ」という農業の直売店がご存知の方沢山いらっしゃると思いますけど、ああいうものを商業と結びつい

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 13/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

て、今朝市やっているわけですが、もう少しきちとしたかたちでこれを、工業のほうですかなかなかわかりませんがそういうひとつの何ていうんですかね手がかりもあるんじゃないかなというふうに思っています。ですから三次との関わりでの継続性がつながっていくのか、それからもうひとつ先程農業の後継者がいないというふうにおっしゃりましたけども工業もなかなか跡を継ぐ人が、きっと町工場の親父さんが汗水流して働いて大して収入がなければ、おれはサラリーマンとかがいいなというふうになる、あるいは商業もそうかもしれません。同じような問題を抱えていくんじゃないかなと思っています。とにかく何とか色んな商業農業工業で意見を出しあってひとつ新しい総合計画ができればというふうに思っております。

【司会】

ありがとうございます。最後継続性の話しは最後のあたりまとめるときにお話しただくとしまして、せっかくですので皆さんからのお話しで商業とかですその他の方も含めてよろしければどうぞ。

【各種団体代表者】

商工会の〇〇でございます。ひとつ現状認識と単純な質問をひとつ後でしたいと思えます。まず商工業ということですのでその立場からいきますと今日のいただいた資料の中では3番目の分野別の特性と課題という中の⑥に産業という項があります。これが総論の資料の5ページに6番産業として非常に簡潔に要領よくまとまった文章になっていますので各論を除けば現状認識はこれに尽きるのかなと思えます。

ここにありますように平成11年以降とありますが近々では平成18年からを考えています。まして市内の商工事業者というのは遠藤市長が前任の会長でもありますからよくご存知ですけれども、平成18年6月30日の時点で3320事業者だったのが、その後の月ごとの設立あるいは廃業ですねこれを考えますとおそらくそれから40ヶ月程度経過しておりますから少なくとも200多くみれば400近くの事業者が事業者ですでになくなっていると考えられます。そういう意味で限りなく3000事業に近い値と考えています。それで時間がないですからはしょりますが、2行目から規模が小さいこともありますが逆というと工業会の日産さんみたいなそれこそグローバル企業もあると、ということもあるんですが、ここからあとですね。「現在は～後に市内の産業構造に大きな変化がないまま産業の活力が全般的に低下し住宅都市としての色を濃くしている状況にあり」という現状認識で間違いのないと思えます。そうするとこれを政策的に住宅都市、今市長も言われましたけど歴史的に追認せざるをえないなかで政策展開が行われてきたと考えられますから意図的に都市計画あるいは市の計画でどうするかという働きかけがないとやはりなかなか展開が難しいのかなと考えます。

このくらいにして商工会のなかでは現状ひとつのそういう担当委員会を設立して現状の問題点とか課題の分析抽出まで進みましたので、次にはその課題をどう解決するかという

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 14/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

段階に進みたいと思います。幸いなことに環境経済部であるとか商工観光課ですとかね担当のセクションの職員の皆さんと日常業務の中で緊密に連携はとらせていただいていると考えておりますので今後ともそういったルートを生かしてきちんと議論を進めてしかるべくとしか今言いようがないですけども進めていきたいと考えております。

ひとつ簡単な質問なんですけども私もわからなかったもので、資料の土地利用のところにも空欄になっているところがあってそれから今のグラフですけどね、総論の3ページに2番の土地利用のところでもその他というところがあるんです。空欄はその他にあたることかと思うんですけどもこれはどういう意味なのか教えていただければと思います。以上です。

【司会】

ありがとうございます。せっかくですので商工関係もうひとかたいらっしゃれば。

【各種団体代表者】

商店街連合会の〇〇でございます。皆さんご案内のように市内の商業におきましても大変環境は厳しいものがございます。会長として拝命してから3年経ちますが拝命したとき900名の参加の商店があったんですが、現在は約680名、約3割の減少、これが商店街の現状でございます。そのなかで今大塚会長が言ったように、商店街連合会としても商工会と共同のテーマについて取り組んでいこうかなと思っておりますが、この近くでは「エコな座間」ということで市民の皆さんに環境についての啓蒙活動といいますか県の指導もありまして今まで商店街連合会ではレジ袋を皆さんに頒布をしていた経過がございます。

過去20年間にわたって頒布をしていたものを昨年度でやめまして地区でも環境のテーマに沿ったかたちで取り組んでいこうということで、もうひとつはこれからの取り組みとして廃油の回収をしてディーゼルのエンジンの燃料として取り組みを具体的に動いていこうかなと思っております。

【司会】

ありがとうございます。せっかくですので今度は環境の話もございまして環境の話をいただいてから先程の宿題といいますかご質問ありました土地利用の話をご回答いただきたいと思いますが。

【各種団体代表者】

私は、今公園の掃除を11年間やってきています。やはり公園で子どもたちが遊ぶところがない、スポーツやるところがない、学校では5時頃もう閉鎖される。その後子どもたちはようするに親は7時8時にならないと帰ってこない、そういう中でまちの中でうろちよろする、ないしは色んなところでたわむれている。やっぱり私お願いしてスポーツの出来る、ある程度環境が整備されたスポーツの出来る場所を提供しないと。そういう場所を作ってほしい。

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 15/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

今現在落ち葉が多くなっている。これは私色々お話しして子どもたちが週1回くらいに落ち葉を拾って、地域の方がゴミを捨てるというような関係でやってございます。

やっぱり子どもたちに何かやらせる、それから場所によっては運動量が足りない子どももいる。公園に来てゲームをやっている、そうじゃなくてやっぱり指導者がいてなんらかのかたちの子どものために健康で人に迷惑かけないようなかたちのものが出来ればもっともっと良い子どもたちができるんじゃないかというようなことです。

【司会】

ありがとうございます。子どもたちを取り巻く環境も大きく変わってきていますのでそういうような大人たちの指導も含めて環境があるといいんじゃないかというような話ですよね。どうでしょう、まず先程のご質問に対してのご回答がありましたら、土地利用の話と数字の話とですね、あとは継続性みたいな話もございましたけれどもいかがでしょうか。まずは数字の話から。

【市役所】

私のほうからは3ページの「その他」で言っておりますのは、都市的土地利用の部分のその他でございます。これはいわゆる空地なので未利用地として交通用地などの公共公益用地、例えば道路とか鉄道とかそういうものをまとめてその他とさせていただきます。また自然のほうはよろしいですか。自然的土地利用のその他というのは主なものとしては河川とかそういうものになります。

【各種団体代表者】

そうするとこのグラフでは広いほうの「その他」が今言われた空地であるとか道路といったようなもので、いちばん右側の細いところが河川といったようなものだとそういうふうに考えていいわけですね。ありがとうございました。

【司会】

よろしいでしょうか。引き続きどうぞ。

【市役所】

企画財政部の宮代と申します。今工業会の会長さんから三次総合計画と今回の次期総合計画についての継続性につきましてご質問いただきましたけれども、結論から申し上げますと第三次総合計画を基本としたかたちで今回の次期計画の策定にあたってございます。若干経過を申し上げますと、いわゆる第三次総合計画については先程も申し上げましたように前期10年についてはバブル崩壊いわゆる失われた10年、残り後期の10年については、景気低迷等によりまして我慢の10年と私共は理解しております。そういったなかで今回の総合計画を策定するにあたっては、今の三次総合計画をまず現状分析し、そこか

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 16/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

ら課題を見いだしていく。その課題についてどうしたらこの改善が出来るかということで今回の第四次の総合計画に継続性を持たせております。

【司会】

補足しますと経常収支比率とか、民間企業で固定費にあたるような部分が市の経常は殆どでしたのでそう意味では継続という表現のほうが正しいかもしれませんが政策的にはこれから新たに入ってくると、そういう意味ではそういう部分は新たなものをということになると思います。

【各種団体代表者】

先程申し上げたように現状認識のところ住宅土地という地点での色を濃くしている状況にありという認識しておられるわけですこの報告書で。そうすると商工会に関わるような小規模事業者の団体としてはそれなりに自分たちの存在意義を高めるような方策を考えていく担当課の皆さんと連絡しながらそれを考えているんですが、この総合計画全体の議論のなかでいずれいわれるベッドタウンですよね、この性格を強めていくのかどうかということを含めてそういうことが明確になっていくようなことを期待したいと思います。

【司会】

この件についてはまた色々な皆さんのご意見をいただきながら検討をしていくということでしょうかね。残り少なくなってきましたので最後に一言という方がいらっしゃいましたらどうぞ。

【各種団体代表者】

私は協働まちづくりの会に出させていただいているんですが、お願いがあります。市の職員の方が協働というものをどうも十分に理解をされてない。協働というのが言葉遊びになっているような感じがしてなりません。

パブコメが1件ありました。それでその事業が進んでしまう。1件しかないということがどういうことなのかということがどうもそれでいいのかということですね。パブコメが1件でその事業が進んでしまうっていうのがいいのかどうかということをもう少し工夫がほしいと思います。何かというとHPをと言いますがHPみる人は殆どいないわけです。パソコン環境がない市民は相当いるわけですから、もう少しパブコメのとり方も工夫をしていただければと思っております。

【司会】

続きましてこちらの後ろの方手挙げましたか奥の方。

【各種団体代表者】

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 17/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

協働まちづくりのこともありますがもうひとつは景観条例、景観計画というのは本当に次の総合計画の中で大変重要なことだと思っているんですけど、残念なことに私四ツ谷のほうに住んでいるんですけども私たちの活動が目久尻川の、特にホテルの関係ではいっぺい窪の保全などお願いした経過もあるんですけども、栗原地区のあそこの流域は斜面も含めまして芹沢公園につながりまして、あそこのまちづくりというのをどうされるのかなと。多分これは地域コミュニティの問題かなと思う一方で関連の地域の人が自分たちで発案できる活動という感じもございまして、やはり協働まちづくり課の人たちがやはり景観条例に則って何か働きかけないとやはり絵に描いた餅がずっと続いていくような感じがします。ですので今回のことではじめてソーシャルマネジメントとかいう言葉を聞きましたけども市民に期待する最も重要ですけども今の浜田さんのお話のようにやはり市のほうの職員それが見ずからまちへ出てく、それで何を考えているかそういうこともぜひ種まきをしてもらうようなこともやっていただきたいなと思っております。

【司会】

ありがとうございます。直接の触れ合いも含めてもっとコミュニケーションというのが本当の意味でのコミュニケーションをどうにか新しいスタイルをとということだと思えますね。どうでしょうかもうお時間もせまっておりますし、じつは10月4日にまた色々お話しをする機会がありますのでもし色々お話しをされたい方はそこでご発言をと思えますが、もう一言じゃあ。

【各種団体代表者】

私は災害ボランティアやっていますけれども、やはり個人情報で消防署、救急車だとかやっぱりそばにそういう有資格者のなものがいるにも関わらずそのそばにそういう人がいるかというようなやっぱり何か認定式とかようするに助けてあげるといのかたちで、一般の方はですねどんな資格持ってなにをやっているのかというようなように個人情報保護によって出されてない。このあいだ障がい者で救急車を呼んだと、民生委員会がいたんですけどやっぱりその人もわからない。やっぱり障がい者に対して個人情報じゃなくてこういう方がこういうところにいるんだからというような情報を与えてあげれば救急車も少なくできるんじゃないかということですね。もう少しやっぱり要援護者に対して気にすべく、この人がこちらにいるよっていうのはやっぱり指名してやっていただく方法を考えてはもう少し救急車のあれが少なくなるんじゃないかということをお私言いたい。

【司会】

ありがとうございます。昨日も個人情報の話しと地域のコミュニティの話しのお話が出てましたが、今日はお時間もせまっておりますのでそのあたりも含めてまとめとして市のほうから一言二言お願いいたします。

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 18/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

【市役所】

本当に2時間あっという間でございます、まだまだ色々とお話し伺いたいなというように思うところがあるわけでございます。今日いただいたお話しそれぞれきちんと受け止めさせていただいた中で今後の計画の策定に参考にさせていただきたいと思うわけです。

先程中間でお話し申し上げたことに加えるわけでございますけれども、この座間のまち、このまさに土地基盤ハードの部分になる核づくりでございますけれどもいわゆる土地の核がない、へそがないまちなわけですね。それがずーっとこれまできてるなかで13万近い市民がいてもこの座間のまちに対してどれだけの関心を今まで持ってきたのということを考えると本当に持っていた方は一生懸命この地域まちに対して関心を持ってらっしゃる。しかしながら全く無関心の方っていうのも沢山いらっしゃる。これは過去我々が持っていた日本人の社会、コミュニティーというものの中のいいところっていうのはいっぱいあったはずなんです、これが戦後のこの高度成長の一連の流れの中で忘れさられ気がついたときにはその良かったものをもう1回再構築しないととんでもない社会になっちゃうよというのが、状況に今追い込まれているのがもう我々だけじゃなくて全国各地問わず。今〇〇さんおっしゃられた話でも全くその通りで私らもそうありたいと思うんです。しかしながらそこで個人情報保護法なるひとつの法律の中で色んな縛りがあり、そういうふうにおっしゃっていただく方がいらっしゃれば一方においてはそういうものは一切出してもらっては困るというこういうことをおっしゃられる方もいらっしゃる。こういう制約された条件がある中で解を見いだしていかなければいけない、こういうやはり状況におかれていくということでございます。そういう中で少なくとも今日こうやっていらっしゃる皆さんこの座間のまちをこれからどうしたらいいのか、自分たちにとっての座間はどうかあるべきなのかっていうことをそれぞれのお立場で真剣に考えていただいているわけでございます。そうした部分でのお話しっていうものを本当に真剣に受け止めないといけないとあらためて思ったわけでございます。景観保全の話もございました。これもやはりこのまちをこれから先自分たちが本当に生活をしていくそれまでは私なんかもそうですけれども、日中仕事に夢中になってうちに帰ってくる、全然周りには関心がない。そうではなくてそれが実際に家にいるようになり周りに関心を持つようになった時に、ああここはどうなんだろう、このまちにきて良かったな、ここはこうなるべきだ、こういうことをきちんと感じながらそれを子孫に残していけるというふうなまちづくりをしていかなきゃいけない。そういった部分でのやはり共通項というものを見いだしていく努力をぜひとも私共もさせていただきたいというふうに思うわけでございます。商工会会長さんからもまた市商会の会長さんからも商業の部分の住宅都市ということで話もあつたわけです。住宅都市化をすればするほどまたこれから生活圏が狭くなればなるほど近隣の繋がりとかが必要になるわけですし、そうしたなかにもまた近いところお互いに近いところこの狭いまちの中でリンクアップをしながらやっていけるものを、これが住んでいるもの同士それから産業と市民そして我々行政との間の関係こうした部分で様々な新しい取り組みっていうものを織り込みながらぜひとも本当に厳しい中での計画策定になるかと思

| | | | |
|----|----------------------|----|-----------------|
| 件名 | 各種団体懇談会 【生活環境・産業・労働】 | 頁 | 19/19 |
| 日時 | 平成21年9月29日(火) | 場所 | 座間市役所 4階-2・3会議室 |

ますけれども頑張ってやってまいりたいと思います。

もうひとつ、これまで第三次総合計画のリンクの話もございましたが失われた10年と我々の10年の話もございました。建設の10年と返済の10年の話もございます。これからの座間のまち、これは座間だけではなく日本全体がここまで培ってきた財産というものをいかに維持管理しながら市民ひとりひとりの生活に役立てていくのか、こうしたこともやはり費用対効果の部分でも問われていくこういう時期になると思います。そこをやはりきちんとわきまえながらまた検証をしながらしっかりと取り組ませていただきたいと思いますので引き続きまたこれから先も色んな機会がございますので改めてこれも言うておきたいあれも言うておきたいといふことがあればご意見のほうを頂戴してまいりたいと思います。今日は本当にありがとうございました。

【司会】

それでは私のほうから事務局さんのほうにお返しいたします。

【市役所】

それでは予定しておりました時間がきましたので今日はこのへんでお開きとしたいと思います。なお、お手元に必ず、ご案内しております10月4日並びに10月14日からのまちづくりフォーラム並びに地域別懇談会がございますので、是非お時間があればこちらのほうにも参加していただければと思います。よろしくお願ひしたいと思います。それでは以上をもちまして本日の懇談会を終わりたいと思います。本日はありがとうございました。